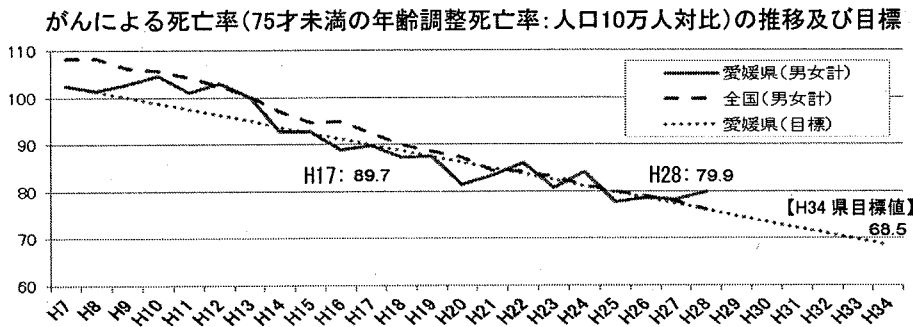


愛媛県がん対策推進計画（素案）の概要

1 計画策定の趣旨

日本人の2人に1人ががんに罹り、3人に1人が、がんで亡くなると言われる中、本県においても、依然として、がんは死亡原因の第1位(H28:がん死亡者数4,538人(全死亡者数の25.6%))を占めており、県民の生命や健康に対する重大な脅威と言える。これまでの様々な取組みにより、医療・相談支援等の体制整備は着実に進んだが、全体目標として掲げた死亡率については、低下傾向にあるものの、全国と同様に目標の△20%（10年間）には届かなかった。

これらを踏まえ、がん患者等に対する社会的支援の充実等新たな課題へも対応しつつ、予防・治療・共生を柱とした総合的ながん対策に県民総ぐるみで取り組み、「がんになっても安心して暮らせる地域社会」の実現を目指す(計画期間:平成30年度から6年間)。



2 基本方針

- (1) がん医療の均てん化及び効率的かつ持続可能ながん対策の実現
- (2) がん患者を含む県民の視点に立ったがん対策の実施
- (3) 予防・治療・共生を柱とする県民総ぐるみによる総合的ながん対策の推進

3 全体目標等

◎ 総合的な取組みにより、死亡率を68.5（10万人対比）まで低下を目指す。

I 科学的根拠に基づくがんの予防・がん検診の充実

- (1) たばこ対策・生活習慣の改善、がん検診の受診率向上等

II 患者本位の安全・安心で適切ながん医療の提供

- (1) 医療機関の機能強化・均てん化、医療従事者の育成
- (2) 専門的治療等の集約化・連携体制の強化（希少がん・難治性がん、ゲノム医療等）

III がんになってもお互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会の実現

- (1) 相談支援及び情報提供の充実
- (2) 緩和ケア、在宅医療の推進
- (3) 就労を含めた社会的な問題への対応（サバイバーシップ支援）
- (4) ライフステージに応じたがん対策（小児・AYA世代(思春期・若年成人世代)・高齢者）の充実
- (5) がん教育・普及啓発の推進

4 計画を推進するために必要な事項

- (1) がん対策に係る関係者（県民、行政、医療機関、検診機関、事業主等）の役割と協力
- (2) 県民総ぐるみによるがん対策の推進

(参考)

がんによる死亡率（75才未満の年齢調整死亡率）の目標値68.5について

全国的に死亡率は低下傾向にあるものの、近年、その低下幅は遞減傾向にあります。また、現在、本県の死亡率は、全国より高い（悪化）状況にあります。

このような中、本県における次期計画6年間の目標値の設定に当たっては、6年という短期間で抜本的に死亡率を低下させることは困難とされますので、現実的な目標値として、様々な取組みにより、現在の死亡率の低下の傾きを維持することを目標としています。

このため、全国の直近5年間の低下率を維持した場合の6年後の数値（68.5）を、本県における目標値としています。